平成28年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
-	テロ、災害等への的確な対応と成田国際空港の安全確保
施策目標	総合的なテロ等対策の推進
施策設定の背景	国際テロ情勢は、昨年11月のフランス・パリにおける同時多発テロ事件を始め、世界各地でイスラム過激派によるテロが多発しています。我が国をめぐるISIL、いわゆる「イスラム国」が我が国をテロの標的として名指ししており、我が国に対するテロの脅威は現実のものとなっています。本年5月には「伊勢志摩サミット」の開催が予定されており、その脅威は更に高まっています。また、成田国際空港において、空港の更なる機能強化に向けた滑走路の延伸計画や第3滑走路建設構想等が具体化されれば、これに反発する極左暴力集団によるテロ・ゲリラの発生が懸念されます。さらに、近年、国内外において政府機関等に対するサイバー攻撃が頻発しており、サイバーテロの脅威が高まっています。このため、総合的なテロ対策等を強力に推進していく必要があります。
実 施 項 目 1	官民一体となった日本型テロ対策の枠組みづくり
	県警では、平成28年4月25日、千葉県、千葉市の協力を得て、約60の機関・事業者で構成する「テロ対策ネットワーク・CHIBA」(以下「ネットワーク」)を設立しました。 平成28年におけるネットワークの活動は、4月25日に設立総会を開催した後、業種ごとの分科会を随時開催してテロ情勢に関する情報共有を図ったほか、県警と事業者等との間で、事業者施設の自主警備状況の点検、テロやサイバー攻撃を想定した合同訓練・演習等を行い、警戒力やテロ対処能力の向上を図りました。
実 施 項 目 2	国際テロ対策の推進
推 進 結 果 2	 「テロリストを国内に入れない」、「拠点を作らせない」、「テロを実行させない」という基本方針の下、官民一体となった日本型テロ対策を推進し、テロの未然防止に努めました。 「テロリストを国内に入れない」対策として、入国管理局や税関、海上保安庁等の関係機関と緊密に連携し、水際対策を強化しました。 「拠点を作らせない」対策として、平素の活動を通じて、不審情報の収集を行いました。 「テロを実行させない」対策として、爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者等に対し、保管・管理の徹底と不審情報の通報等を要請しました。また、ベルギーにおける爆弾テロやダッカにおける襲撃テロ等を踏まえ、大規模集客施設等への警戒を実施するとともに、施設管理者に自主警備の強化、協力態勢の確立等を要請しました。 千葉市5警察署と千葉県宅建協会千葉支部との間で、安全で安心できる県民生活を確保するための覚書を締結しました。

					3 千葉港において、千葉海上保安部、東京入国管理局千葉出張所 及び横浜税関千葉税関支署などの関係機関とのテロ対策合同訓練 を実施し、現場対処能力の向上を図りました。
実	施	項	目	3	極左暴力集団等によるテロ・ゲリラ対策の推進
推	進	結	果	3	成田国際空港への反対動向に対し、適切な警備諸対策を推進し、 テロ・ゲリラ事件の未然防止に努めました。また、極左暴力集団の 違法行為に対する綿密な捜査により、詐欺事件で中核派活動家らを 検挙しました。
実	施	項	目	4	サイバーテロ対策の推進
推	進	結	果	4	県内の重要インフラ事業者等を対象に、サイバーテロ対策協議会総会及びサイバー攻撃インシデント対応演習等を開催し、被害の未然防止と対処能力の強化を図りました。
実	績	(成	え 果)	官民の連携体制を強化するなど、テロの発生を防止する上で効果 的な対策に取り組みました。
実	実績(成果)指標				県内におけるテロ等を未然に防止しました。
参	考	:	指	標	伊勢志摩サミット及びその関連会合が全国各地で行われました が、テロ等の発生はありませんでした。
効				果	各種対策を効果的に推進した結果、県内におけるテロ・ゲリラを 未然に防止することができました。
今及	後 ひ		課方	題針	
施政	策 策 評	主话信	管 担 当	課課	警備部公安第一課、警備部公安第二課、警備部公安第三課、警備部 警備課及び警備部外事課 警備部公安第一課